

星空を美しく

○インターネット「はらまち九条の会」検索で、本会活動や会報をご覧ください。

九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.271

2015(平成27)年 9月25日(金)発行

紅葉も...



■「はらまち九条の会」は、憲法第9条を護って「戦争をしない国・日本」をめざし、支持政党や主義主張を問わない自由な市民の会です。どなたでも、どこに住んでおられようと会員になれます。匿名でもけっこうです。■結成は05年12月。会員は南相馬市原町区を中心に442名。年会費は千円。■「憲法学者鈴木安蔵のふるさと」、「事故の福島第一原発に世界一近い『九条の会』」を自覚して活動しています。

会員の皆さま、ご出席をよろしくお願いいたします!

10月18日(日)「はらまち九条の会」総会・講演会

○会場：JR原ノ町駅前 南相馬市中央図書館マル千メテアホール

◆総会：午後1時～2時 **ご遠慮なくご発言ください!**

◆金子勝先生講演会：午後2時15分～4時 **入場無料・市民の入場歓迎!**

南相馬市出身の「法学者鈴木安蔵」についての貴重な講演です

講師：法学者 金子 勝かねこまさる先生

1944年～ 立正大学法学部名誉教授。愛知県出身。ご専門は憲法学、政治学、社会科学論。愛知大学法経学部法学科、同大学院法学研究科修了。愛知大学時代に日本国憲法の礎になった「憲法草案要綱」を作成した鈴木安蔵に師事。その遺志を継がれ「憲法9条」を守る護憲平和運動を全国に展開されています。



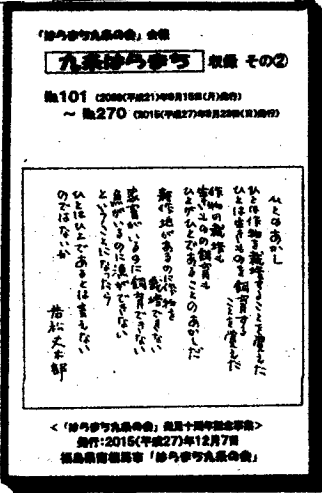
金子 勝先生

◆午後5時から、会場前の「丸屋」さんで「懇親会」を開催。金子先生、県九条の会代表の吉原泰助先生も参加されます。当日受け付けます。会費は4,500円です。

○当日、総会の“受付”などのお手伝いのできる方、お申し出ください。また、受付で、未納の方の年会費(年1,000円)も受領いたします。



総会当日、本会発足10周年記念事業「会報集録その②」を発行



◇本会会報「九条はらまち」No.101～270の集録で、356ページ。活動の記録と、3.11大震災や原発事故による会員や南相馬市の苛酷な被災の様子や体験も記録されています。200部の印刷。

◇発行経費約40万円の一部として、会員有志からの「協賛金」(一口5,000円)を募っています。ご応募一口につき『集録』1冊をお頒けいたします。ご協力をお待ちしています。

◇『集録』は非売品で、図書館などに寄贈のほか、ご希望の会員へは恐れ入りますが、1冊1,000円のカンパでお頒けいたします。総会当日、受付でお受け取りください。

◀表紙には若松丈太郎さんの詩「ひとのあかし」が、若松さんの自筆で掲載。原町区(有)ライト印刷さんの印刷で、鮮明で美しい仕上がります。

鈴木安蔵先生なら現憲の国会や安保法制をどう見たでしょう

10月18日(日)2:15~4:00 金子 勝先生講演会

演題『鈴木安蔵先生はどのように憲法草案を作成したか』

○10月18日(日)「金子勝先生講演会」が開催されますが、ご講演では戦争直後の混乱の中、現憲法の草案がどのように憲法研究会で検討され作成されたかが、お聞きできると思います。

○鈴木安蔵先生をより知るための<参考書・文献>を紹介します。

「憲法はアメリカの押しつけ」というのは無知で恥ずかしいこと!

鈴木安蔵を学ぶ<参考書・参考文献>

◇『鈴木安蔵先生から受け継ぐもの』鈴木安蔵先生生誕百年記念シンポジウムの記録
生誕百年を記念し2004年8月7日(鈴木安蔵の命日)に、その生誕の地小高区浮舟文化会館で開催されたシンポジウムの記録。金子勝先生が、鈴木憲法学の成立や、日本国憲法の間接的起草者としての鈴木先生について、詳細な説明をされています。(※非売品で手に入りにくいですが)

◇金子勝「鈴木安蔵」『おだかの人物』2006年・南相馬市発行
小高区出身の人物10名のうち、鈴木安蔵について金子先生が執筆されています。

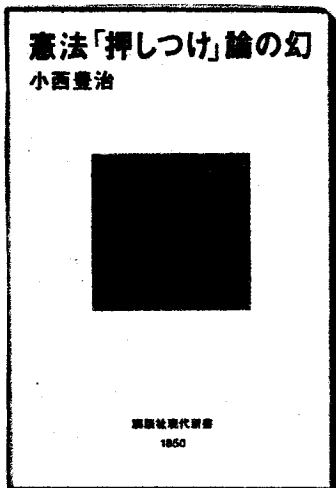
◇吉原泰助「日本国憲法の間接的起草者」果九条の会発行ブックレット ¥100
『福島県が生んだ平和と人権の先駆者たち』
自由民権運動の県人の活躍、兵役を拒否した矢部喜好、日米開戦回避に奮闘した朝河貢一、そして鈴木安蔵の功績を綴っておられます。

◇若松丈太郎「鈴木安蔵・日本国憲法の間接的起草者」
『紅の旗』相馬高校創立百十周年記念誌・2009年1月15日発行
特に、「3. 鈴木安蔵はどのように人間形成をすすめたのでしょうか」「4. 憲法学の確立」などが、分かり易くまとめられています。

◇映画『日本の青空』パンフレット・2007年3月12日発行
鈴木安蔵を主人公に、日本国憲法の成立過程を描いた大澤豊監督の映画ですが、そのパンフレットでも詳しく説明されています。



◇小西豊治著『憲法「押しつけ」論の幻』講談社現代新書 ¥700+税



「憲法はマッカーサーから押しつけられたもの」「アメリカが急場しのぎに作ったものだから、自主憲法をつくろう」という意見が強まってきた2006年7月に発刊され、話題になった本です。

映画『日本の青空』(2007年)でも明らかになったように、

- 憲法草案要綱を作成した「憲法研究会」のこと
- 鈴木安蔵の自由民権運動の研究から憲法草案が作成されたこと
- 人類の永い歴史の叢知を結集して憲法草案が生まれたこと
- 鈴木らの草案をGHQのラウエル中佐や日本研究者ノーマンの仲介や努力により日本国憲法が生まれたこと
- 第25条などの生存権は鈴木提案の草案文そのものであること

等、憲法の成立過程が具体的に説明されていて、政府与党の「押しつけ論」がいかに歴史に無知で不勉強かが分かります。